

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 【新】 バイオコークス普及推進事業費（R 8 分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

総合企画部未来創成局 未来創成課 第三係 電話番号：058-272-1111(内2718)
E-mail：c11179@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 7,427 千円 （現計予算額： 0 千円）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	7,427	2,909	0	0	0	0	0	0	4,518
決定額	7,427	2,909	0	0	0	0	0	0	4,518

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

バイオコークスは木くずや牛ふん堆肥など農産地域が有する有機物を原料とすることができ、加えて石炭コークスに比べ優れた環境性能を持つクリーンエネルギーである。
また、石炭コークスとの代替が可能であるものの、価格面等での課題がある中で、バイオコークスの普及に向けバイオコークスの利用を推し進める必要がある。

（２）事業内容

- ① バイオコークス P R のためのエコプロ2026への出展 [要求額：2,090千円]
バイオコークスの更なる認知度向上と導入企業の拡大を図るため、環境系の展示会では国内最大規模のエコプロ2026に出展し、研究成果等を P R する。
- ② 効率的な乾燥手法の確立に向けた実証実験 [要求額：3,205千円]
製造コスト及びCO2排出量の削減に向けて、効率的な乾燥手法の可能性を検証する。
- ③ 地域資源の更なる活用に向けた新たな原材料の研究 [要求額：964千円]
地域資源の更なる活用に向けて、新たな原材料によるバイオコークスを製造しその組成分析を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県の10の目標の1つである「山林や堆肥などを活用したクリーンなエネルギーを共有する」に関連する事業であるため、県負担は妥当。

研究・PR事業委託料には第二世代交付金（ソフト事業：補助率1/2）を活用予定。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	630	バイオコークス研究会報酬
旅費	814	バイオコークス研究会旅費
委託料	5,818	バイオコークス研究会研究委託料、PR事業委託料
使用料及び賃借料	165	バイオコークス研究会会場使用料
合計	7,427	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

地球温暖化防止・気候変動適応計画（中間見直し）【掲載予定】

10の政策目標

⑥山林や堆肥などを活用したクリーンなエネルギーを供給する。

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

バイオコークス研究会での研究結果により次年度を検討。

(4) 事業主体及びその妥当性

バイオコークスに関する研究への支援を実施することで、バイオコークスの利用を普及・推進することができる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・バイオコークスの普及を推し進め、地域資源の有効活用による循環型社会の構築を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
バイオコークス 導入企業数（累					6 社	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	
令和 5 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 6 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など